

第304号 2012年4月16日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

「有機硫黄化合物の合成に関する講演」 開催のお知らせ

1. 日 時：2012年5月1日（火） 16:00 ~ 17:00
2. 場 所：理工学研究科1号館2階大会議室

演題：40 Years with Blue-Sky Research
講師：東京都立大学 上方 宣政 名誉教授

問い合わせ先：理工学研究科 澤田 英夫
電 話：0172-39-3578
E-mail：hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学 金木農場・藤崎農場 「親子体験学習参加者募集」
～触れ合おう、人と自然と農業に！～

弘前大学の農場では、第13回目の楽しい親子体験学習を行います。

金木農場では、親子が一緒になってたくさんの自然と触れ合いながら田植えから白米までのコメ作りを学び、藤崎農場では、リンゴの摘果(実選り)や収穫体験をします。他にも、地域のお年寄りからワラ草履作りを教えてもらったり、昆虫採集や藍染めを行う体験もあります。最終日には、金木農場でみなさんが収穫したモチ米を使って餅つきを行い、つくたてのお餅をみんなでいただきます。

様々な体験学習ができるチャンスです。是非、ふるってご参加ください！

1. 実施期間：2012年5月26日(土)～11月3日(土)まで延べ5日
2. 実施時間：9時30分～15時30分
(昼食休憩1時間、昼食は各自ご持参ください)
3. 募集対象：先着 25組
(保護者1名につき子供2人までとします)
4. 実施場所：弘前大学金木農場
(五所川原市金木町芦野84-133)
5月26日、9月29日、11月3日

藤崎農場(藤崎町藤崎下袋7-1)
6月16日、10月13日
5. 参加経費：延べ5日間分全額で 大人1名につき 1,000円
お子様は参加費無料！



6. 学習日程・内容：

- 第1回目 5月26日(土) ・ 出会いの会 ・ 羊の毛刈り ・ 田植えに挑戦
- 第2回目 6月16日(土) ・ リンゴの摘果 ・ 昆虫採集
- 第3回目 9月29日(土) ・ 稲刈り ・ ワラ草履作り
- 第4回目 10月13日(土) ・ リンゴの収穫 ・ 藍染め体験
- 第5回目 11月 3日(土) ・ お米の精米とおにぎり作り ・ 餅つき体験

7. 締め切り：平成24年5月18日(金)

8. 主 催：弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター

9. 後 援：弘前大学男女共同参画推進室
女性研究者研究活動支援事業「つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才」

問い合わせ先： 弘前大学金木農場
TEL 0173-53-2029
FAX 0173-52-5137
E-mail：jm532029@cc.hirosaki-u.ac.jp

保健学研究科すこやかコミュニティ支援センター生活習慣病フォローアップ部
弘前大学『山野いきいきウォーキング』開催のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科すこやかコミュニティ支援センター生活習慣病フォローアップ部門では、弘前大学『山野いきいきウォーキング』を開催いたします。

本事業は、新緑あふれる山野草の自然を楽しみながら、運動の楽しさを体験すること、足腰への負担を軽減するポールを用いた歩行を体験することを目的としています。

皆さまのご参加をお待ちしております。参加を希望される方は、下記の連絡先までお問い合わせください。

1. 日 時：2012年 6月 3日(日)
8：30～15：30 ※雨天中止
2. 場 所：黒石市 黒森山ウォーキングセンター
(現地までバスで移動します。片道1時間程度)
3. 集 合：弘前大学大学院保健学研究科 正面玄関
(弘前市本町66-1)
4. 参加費：1,000円(交通費・保険料込)
5. 対 象：40歳以上、2時間程度の歩行運動が可能な方
※高血圧、呼吸や心臓の病気、足腰や関節の炎症などの基礎疾患がある方は主治医の許可が必要です。
6. 定 員：30名程度(※応募者多数の場合、参加人数を制限する可能性があります。)
7. 主 催：弘前大学大学院保健学研究科
すこやかコミュニティ支援センター生活習慣病フォローアップ部門



8. 協 力 : 特定非営利活動法人青森県健康・体力づくり協会

※参加を希望される方は下記問合せ先へ、5月18日(金)正午までお申し込みください。

問い合わせ先: 弘前大学 大学院保健学研究科 漆坂 真弓
 電 話 : 0 1 7 2 - 3 9 - 5 9 4 4
 E-mail : urushima@cc.hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

電子ジャーナル・データベース講習会開催のお知らせ

附属図書館が整備導入している各種データベースの講習会を開催します。講師はいずれも外部から招いた専門家ですので、分かりやすく実践的な講習内容となっております。この機会に是非ご参加ください。



データベース名	講 師	日 時	実施会場
開蔵IIビジュアル(朝日新聞) ヨミダス歴史館(読売新聞) (新聞記事検索データベース)	紀伊國屋書店 電子商品 営業部 楠 哲二氏	4月18日(水) 12:40~14:10	総合情報処理セン ター第3実習室
JapanKnowledge ⁺ (辞書・事典総合データベー ス)	紀伊國屋書店 電子商品 営業部 楠 哲二氏	4月18日(水) 14:20~15:50	総合情報処理セン ター第3実習室
Westlaw Japan (日本の法律データベース)	(株)ウエストロー・ジャ パン 上田 茂斉氏	4月23日(月) 16:00~17:30	総合情報処理セン ター第1実習室
Sciverse [®] R Science Direc toR [®] (エルゼビア社の電子ジ ャーナル)	ゼファー・ビヨンド(株) 松山 裕二氏	4月27日(金) 14:20~15:50	総合情報処理セン ター第1実習室

対象者：本学の学生及び教職員（事前申込不要）

問い合わせ先：学術情報部学術情報課（附属図書館）資料管理グループ雑誌情報担当

Tel 39-3157 / E-mail jm3157@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学出版会から新刊のご案内

渡辺義弘 弁護士 著「子の監護権紛争解決の法的課題—弁護士実務の視角から問う—」（A5判、251頁、定価2,300円：税込）を出版しました。

震災は共生社会の志向を生んだ。しかし、進化した生存競争は個人の孤立化を深く静かに加速させた。若い世代の夫婦関係破綻による子どもの監護権獲得紛争が多発かつ深刻化している。本書は在野の弁護士の視角から、紛争解決の理念問題と、司法官庁の業務遂行を主眼とする「役所の論理」の克服とを訴える。「子の福祉」の理念は、市民レベルでの国家に対する信頼感が喪失している時代には機能しない。子の権利の確立と並行して、親が人間の本能として子を求めるリアルな実態を手続論に反映させる必要がある。新家事事務法が立法外とした意思能力なき未成年子の「子ども代理人制度」の必要性、ハーグ子の奪取条約への加盟の是非、調査官調査のブラックボックス現象の克服、利用者の子の引渡強制システムの確立、破綻夫婦による子の共同監護権論の光と影など、「市民の論理」に基く、家族法手続論の再検討に、筆者は本書によりささやかな挑戦を行った。



ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求めください。

理工学部知能機械工学科 共著「知能機械工学実験・実習テキストA」（A4判、135頁、定価1,200円：税込）を出版しました。

本書は、弘前大学理工学部知能機械工学科で2年生を対象に2012年4月から開講される知能機械工学実験Aおよび知能機械工学設計Aの実験指導書である。機械工学を学ぶ学生が基礎として身につけておくべき項目のうち、ここでは(i)材料特性とその評価原理、(ii)流体特性とその測定原理、(iii)メカトロニクスの基礎、(iv)制御電子回路の基礎、(v)製図とCADの各項目を取りあげ、実験と実習を通して学習するための資料を提供する。

受講の方は大学生協でお買い求めください。



理工学部知能機械工学科共著「知能機械工学実験・実習テキストB」（A4判、97頁、定価 800円：税込）を出版しました。

本書は、2012年度に弘前大学理工学部知能機械工学科で3年生を対象に開講される「知能機械工学実験B」、「知能機械工学設計B」、「創造実習」の実験指導書である。機械工学を学ぶ学生が身につけておく項目のうち、(i)材料システム評価、(ii)温度および熱流束の測定、(iii)モーションコントロール、(iv)薄膜微細加工、(v)設計製図、(vi)創造実習を取りあげ、実験と実習を通して学習するための資料を提供する。

受講される方は大学生協でお買い求めください。



弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
電 話：0172-39-3168
F A X：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

http://www.janu.jp/active/7janu_quarterty_report.html

第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。
◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ
E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp、Fax:39-3498、内線：3012